

「近畿管内道路メンテナンス会議」を開催

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム2025にて、近畿地方整備局管内7府県の道路メンテナンス会議の構成員が一堂に会し、道路メンテナンスの動向や点検支援技術について情報共有を行いました。

【開催概要】

■ 日 時 : 令和7年5月23日(金) 13:00~14:30

■ 会 場 : 花博記念公園鶴見緑地 ハナミズキホール・附属展示場

■ 出席者:

(国土交通省)

道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室 和田室長

(近畿地方整備局)

道路部 田中道路部長、近畿道路メンテナンスセンター 田中センター長 他

(府県道路メンテナンス会議 構成員)

近畿地方整備局 各事務所、管内各府県及び市町村 105名

(一般傍聴者) 約170名

■ 内 容:

○最近の道路メンテナンスの動向について

道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室 和田室長

○近畿地方整備局管内の道路メンテナンスについて

近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター 田中センター長

○点検支援技術性能カタログ等のプレゼンテーション(3事例)



「最近の道路メンテナンスの動向について」
道路局 道路メンテナンス企画室 和田室長



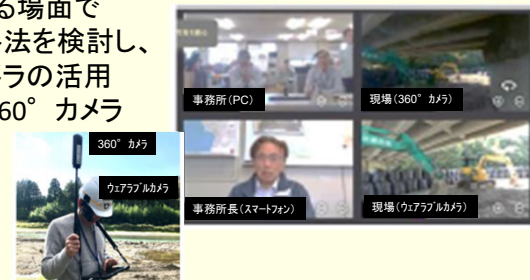
「近畿地方整備局管内の道路メンテナンスについて」
近畿道路メンテナンスセンター 田中センター長

■点検支援技術性能カタログ等のプレゼンテーション

<第8回インフラメンテナンス大賞優秀賞>

●360°カメラとウェアラブルカメラによる地方自治体の施設管理の効率化・高度化

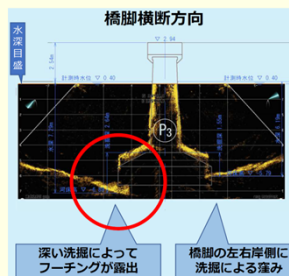
調査や点検などメンテナンスのあらゆる場面で360°映像を用いた情報の整理・共有手法を検討し、効率化や人材育成につながる360°カメラの活用方法を多数確立。さらに、取組内容を「360°カメラ事例集」にまとめて公表。



<舗装点検・道路巡視>

●MWD plus

規制不要で走行荷重によって生じる路面たわみを連続的に測定し、舗装の健全度を評価。加えて、路面性状測定機能を追加したことにより、路盤の健全性とひび割れ率等の路面性状を同時に取得し、総合的に舗装の健全性を把握。



・舗装のたわみ量



・ひび割れ率
・わだち掘れ量
・IRI

◆会場の様子



会場全景



道路メンテナンスに関するパネル展示

<橋梁点検>

●魚群探知機を用いた橋梁基礎の洗掘計測技術「Nソナー」

魚群探知機を用いて、橋脚基礎周辺の鉛直方向の二次元ソナー画像を取得し、洗掘の状況を可視化。

無人船の導入で計測を効率化し、ダム湖や河川を対象として迅速かつ低コストに調査。